介護助手に長く働いてもらうことが、職員の負担軽減に繋がる。

公益財団法人 浅香山病院
小規模介護老人保健施設　かーさ・あもーれ

ご担当者　副施設長 近藤様

○ユニット数…3ユニット　○定床…29床
◆看護師…7名（師長含む）　◆介護福祉士…13名　◆介護士…1名(パート)　◆介護助手…1名(パート)
※看護師・介護福祉士は全て正規採用

取材日 2022年5月16日

Point 1 介護助手導入のきっかけは、少しでも職員の業務負担を減らすためと考えました。

Point 2 介護助手の継続的受入意識
介護主任が決めた業務内容で運用し、それ以外の業務負荷を避けることが介護助手の働きやすさとなり、長く働くことが出来る。それが現場の介護負担につながる。以上を現場職員へ理解浸透させることが成功のコツ。

Point 3 導入後の介護職員の負担軽減
利用者との関りの時間や、ユニットカンファレンスの時間を作ることが出来ました。委員会活動や勉強会も業務時間内に開始することが出来るのではないかと思います。

少しでも職員の負担を軽減するために導入を考えました。

介護助手の導入経験はありますか？
法人（浅香山病院）では看護助手は導入していますが、施設では初めてです。
採用応募が少なく、人手が足りず職員の業務負担が増え退職といった状況に陥らないために、少しでも職員の負担を軽減するために導入を考えました。

施設向け説明会に参加した方は？
私と法人の人事課長が参加しました。

受入準備は誰が行いましたか？
私、施設長（医師）、看護職、介護職のそれぞれの役職の方、ユニットリーダーです。

決めたこと以上は介護助手に任せない。

苦労した点･工夫した点はありますか？
職員が行っていた直接ケア以外の業務を任せることで職員の負担を軽減すること、直接ケアや利用者との時間を確保することでケアの質を高めること、という導入の目的と、負担軽減に結びつけるには長く働いてもらう必要があるため、介護助手が負担を感じない業務をさせることの意識を持ってもらうこと、この2点の浸透に苦労しました。
法人では介護助手を長年採用していますが、色々な仕事を任されることのプレッシャーを退職理由にあげる場合が多くあります。その経験をもとに“決めたこと以外はさせない。身体ケアはさせない。”ことを前提で業務の洗い出しをし、介護主任が作成した業務手順をもとに現場職員が指導しています。当施設は電子カルテを導入していますが、カルテを見ることで多くの情報を得ることになり、それが混乱を招くと考え、電子カルテの操作方法は指導しませんでした。必要な情報は直接伝えることで問題は起きていません。ナースコールの対応をすると、身体ケアが出来ないのに利用者とかかわってしまい、双方が嫌な思いをすることもあるため、ナースコールも出なくてよいことを指導しています。

業務の洗い出しをどうしましたか？
3フロアあるユニットにそれぞれユニットリーダーがいるので、ユニットリーダーに業務の洗い出しを任せることで現場の声を反映させました。

担当職員は配置しましたか？どのように配置しましたたか？
介護主任が担当。現場の職員が意見あれば、介護主任に伝え、情報を集約した上で、介護助手に伝えました。介護助手からの相談は介護主任が聞きます。当施設は3つのユニットがあります。例えばおむつ整理という業務でも各々のユニットでやり方が違います。そのため現場職員が直接介護助手に意見を伝えると介護助手が混乱するので、一旦介護主任が意見を集約するようにしています。

導入してからどうでしたか？
全職員が同じ認識で介護助手に接するには１か月ほど時間がかかりました。（現場職員の共通認識）

整理の仕方について、写真を撮って伝えた。

マニュアルは作りましたか？
各ユニットに職員用のマニュアルがあり、それを使用しました。またユニットの利用者の特徴により方法が違うものは、視覚的に分かりやすくする等工夫しました。例えばおむつは利用者の排泄状況により使用する種類や枚数に違いがあります。そのため収納扉にこのように配置してほしいという写真を掲示しました。

どのような時間帯、曜日、日数で勤務していますか？
月火木金８時半～16時パートで採用。3ユニットすべてを担当しています。同じ業務でもユニットによって配慮すべき所が違うため、どういった所を配慮する必要があるか現場職員から伝えています。

介護助手の導入により時間内に委員会活動等が出来るように

空いた時間はどのように活用いただいているか？
利用者との関りの時間やユニット内でのカンファレンスに充てています。委員会活動や勉強会は業務時間内に開催することが難しいのですが、これからは時間内に始めることが出来るのではないかと、取り組み始めているところです。

準備期間はありましたか？どれぐらいで受入準備完了しました？
説明会を聞いた後、すぐにユニットリーダーに伝え、業務の洗い出しを行いました。毎月会議をしており、次の会議までにはたたき案が出来ました。フェニーチェ堺（マッチングイベント）での資料等は私が作成し、フェニーチェ経由で6人が施設見学に来ました。